

とっとり琴浦熱中小学校事業について

企画政策課

今年5月の授業で取り組んだ「風景印デザイン実習」で生まれたデザインが以西郵便局の風景印（消印）として採用されました。これに関連し、全国5カ所の熱中小学校が連携して応募した「QRコード付き風景スタンププロジェクト」が、プラチナ大賞優秀賞を受賞しました。

また、今月は㈱チュウブの大田会長が地元推薦講師として初めて登壇されます。

1 以西郵便局風景印について

5月25日に実施した図工の授業（講師：紙の仕事人：小杉博俊氏）で、生徒全員が作成した中から選ばれたデザインが以西郵便局に採用され、10月1日から使用開始となりました。



以西郵便局で採用された風景印

2 プラチナ大賞受賞について

(1) プラチナ大賞について

プラチナ構想ネットワーク主催。物質的な豊かさを達成した先進国が直面する課題解決に向け、未来のあるべき社会像を「プラチナ社会」として描き、イノベーションによる新産業の創出や、アイデア溢れる方策によって「プラチナ社会」実現を目指す全国各地の取り組みを賞として称え、広く社会に発信し、ビジョンや具体的アクションの理解・浸透を図ることを目的として実施されています。

(後援：総務省、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国特別区長会)

「プラチナ社会」の必要条件

- ・エコロジーで（人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存）
- ・資源の心配がなく（エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築）
- ・老若男女が全員参加し（生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会）
- ・心もモノも豊かで自己実現が目指せ（文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」）
- ・雇用がある社会（イノベーションによる新産業の創出）

(2) 優秀賞受賞について

一社）熱中学園と、連携校のうち北海道更別村、長野県高森町、高知県越知町、宮崎県小林市と琴浦町が共同で、「郵便局の風景印をバージョンアップして地域をつなぐ」というタイトルで応募。地元を愛する生徒のデザインによるQRコード付き風景印（郵便局風景入り通信日付印）によるイノベーションの提

案を行いました。

郵便をもらった人がスマホをかざすだけでその土地の観光・イベントなど魅力的なコンテンツにつながり、関係人口の増加・特産品や観光の販売促進など地方創生に貢献できる、エネルギーを必要としないプラチナ社会創出を目指す取り組みです。

全国から応募のあった 50 件の中から最終選考に残った 13 団体による最終審査が 11 月 5 日に行われ、この風景印のプロジェクトは優秀賞「きらり構想賞」を受賞しました。

また、受賞にあたり、琴浦町は「プラチナシティ」の称号を得ました。



授賞式の様子（東京イイノホール）

(3) 今後の展開について

このプロジェクトで、以西郵便局で消印として使用される風景印とは別に、「QR コード付き風景スタンプ」も同時に作成しました。

現在は QR コードを読み込むと琴浦町観光協会のサイトにつながるようになっており、熱中小学校としてこのスタンプを活用し、地域に根ざした新たな学びと実践をしていきます。



QR コード付き風景スタンプ

3 第2回授業について

第2回授業には、地元講師第1号、株式会社チュウブ 代表取締役会長の大田英二氏が登壇されます。

鳥取県で育った芝を全国に普及し、その芝が先日のラグビーW杯日本大会の会場でも使われ、話題になりました。

今回、「芝生文化への挑戦」と題し、地元推薦の熱中小学校講師として初の授業をしていただきます。

(1) 日時 11月23日（土・祝）13：00 開会

13：10～ 1時間目 大田英二氏（株式会社チュウブ 代表取締役会長）
「芝生文化への挑戦」

14：40～ 2時間目 吉澤 隆氏
（株式会社マーケティングジャンクション代表取締役）

「コンセプト発想法・・・名物のコンセプトをみんなで作ってみよう！」

(2) 会場 旧以西小学校ランチルーム